

第3章 地域への期待

第1節 4広域

1 東信地域

① 地球温暖化対策の取組

現行の省エネ基準により定められている地域区分において、東信地域の大部分が高い断熱性能を求められる省エネ基準の地域区分Ⅱ地域に分類されており、建築物における省エネの効果が期待できます。世帯当たり保有自家用乗用車の割合が高く、次世代自動車の普及による取り組みの効果が期待できます。

② 自然エネルギーの取組

自然エネルギーについては、積雪が少なく夏冷涼で日射量が豊富なことから、太陽光発電などを活用した取り組みが期待されます。当該地域には豊富な森林資源を中心としたバイオマスや、上水道などでポテンシャルの高い小水力などの活用も有望とされています。

自然エネルギーの普及にあたっては、市町村や民間団体等と連携したエネルギーの地産地消の普及が期待されます。

2 南信地域

① 地球温暖化対策の取組

一定規模以上の製造業事業所が数多くあることから、事業活動における省エネの効果が期待できます。世帯数や市町村数も多くあることから、家庭部門においては、省エネ講習会をきめ細かく行うことによる効果が期待できます。

② 自然エネルギーの取組

自然エネルギーについては、通年で比較的温暖で積雪も少なく日射量が豊富であり、全国発の市民出資による太陽光発電の普及がスタートしていることから、太陽光を活用した取り組みが期待されます。森林が地域面積の81%を占めることから、これらの森林整備により発生する間伐材などのバイオマス活用、上水道・農業用水などでポテンシャルの高い小水力も有望とされています。

自然エネルギーの普及にあたっては、市町村や民間団体等と連携したエネルギーの地産地消の普及が期待されます。

3 中信地域

① 地球温暖化対策の取組

ホテル・旅館営業施設数や新設住宅着工戸数が多いことから、建築物における省エネの効果が期待できます。また、環境資源を活かした観光が盛んであったり、カーフリーデーの取組が行われていたりすることから、環境に配慮した交通・まちづくりに係る取組が期待できます。

② 自然エネルギーの取組

自然エネルギーについては、全国的に日射量が豊富なことによる太陽光、県下4地区の中で地域面積に占める森林の割合が84%と一番高いことによるバイオマス、特に大規模プロジェクトの推進や地域林業の活性化が期待されます。また、農業用水などを活用した小水力発電や温泉地域が多いことから温泉熱や地熱利用についても、有望とされています。

自然エネルギーの普及にあたっては、市町村や民間団体等と連携したエネルギーの地産地消の普及を期待します。

4 北信地域

① 地球温暖化対策の取組

世帯数、一定規模以上の製造業事業所、商業事業所やサービス事業所の数が多いことから、事業活動における省エネや家庭における省エネの効果が期待できます。新設住宅着工戸数や保有自家用乗用車台数が多いことから、建築物における省エネや次世代自動車の普及による効果も期待できます。

② 自然エネルギーの取組

自然エネルギーについては、県内でも積雪量が比較的多いことによる雪氷熱の利用や、温泉地域が多いことによる温泉熱利用が期待されます。

また、豊かな水流を利用した小水力、間伐材やきのこ栽培から発生する廃培地などの木質バイオマス、太陽光といった環境と調和した自然エネルギーの普及など、市町村や民間団体等との協働による自然エネルギーを活用した地域づくりが期待されます。

第2節 エリア

1 都市エリア

環境、快適さ、にぎわいが並び立つまちづくりが期待されます。環境では、個別の建物のエネルギー効率を高めるとともに、電力や排熱を巧みに融通しあうスマートな街。快適さでは、公共交通や自転車、徒歩での移動がしやすい街、景観の美しい街。にぎわいでは、街を歩く人がたくさんいる上に、さらに地域や環境の活動が活発で、住民同士の絆が強い街。このような街は、魅力的な街として国際的にも輝くことになるでしょう。

2 郊外・農山村エリア

環境、美しさ、ゆとりの地域づくりが期待されます。環境では、地域の自然資源を活用してエネルギーを生み出す「エネルギー自立地域」や気候変動に適応した生活。生物多様性も十分に保全されます。美しさでは、県産材を利用した住宅と田畑、森林が融合した日本の原風景。ゆとりでは、豊かな人間関係とコミュニティが大切にされ、地域で生産された食材を旬産旬消で楽しめる落ち着いた暮らし。このような地域は、住んでいる人の満足度が高いだけでなく、心と身体を癒せる地域として、都市部や県外、国外から多くの人を訪れることになるでしょう。

3 山岳エリア

生物多様性の保全、持続可能な利用、厳粛さをコンセプトとした地域の維持・創出が期待されます。生物多様性では、地球温暖化による影響予測にも配慮した希少な野生動植物種やそれらの生息・生育地域となる重要な地域の厳格な保全など。持続可能な利用では、循環を損なわない範囲での資源活用や環境に配慮した観光・入山。厳粛さでは、自然・生き物への感謝や次世代への継承。このような地域は、人と自然の共生が成立している長野県の象徴的な地域として、国内外に発信され、また、認識されることになるでしょう。